青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和7年度　第235号　6月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

今年度の「保小中一貫教育の取り組み」の活動内容について紹介します。

令和７年度の保小中一貫教育の取り組み

保小中一貫教育委員会事務局　米山 忍（青木小学校教頭）

青木村の特色の一つに、保小中一貫教育があります。「村の子は村で育てる」という教育理念のもと、教育委員会を中心に保育園・小学校・中学校が連携し活動をしています。

昨年度「５か条委員会」「子育て委員会」「フォーラム推進委員会」「小中連携推進委員会」「保小連携委員会」「特別支援教育委員会」「保健教育委員会」の７つの委員会が特色ある活動をし、成果を収めてきました。そして、この活動の様子を発表する場、『子育てフォーラムあおき』が１１月３０日(土)に開催されました。そこでは、「あおきっ子教育ポイント５か条」の第３条時間の使い方の改定に伴い、「メディアとの上手なつきあい方」をテーマにアンケートを取った５か条委員会の発表を聞いたり、ＳａｎｙＴＯＭＩの森山雅斗さんの『体操を通して青木村を元気に！』という講演会を聴いたり、さらに分科会で考えたりしました。

今年度も、「村の子は村で育てる」という理念を具現するために、「心豊かでたくましい子どもの育成～社会力（生きる力）を育てる」の教育目標の実現のために保・小・中で連携して活動していきます。それでは令和７年度の活動について紹介します。

今年度もすでに運営委員会や推進委員会・全体会が開催され、今年度の活動の方向性が決まりました。

１.子育てフォーラムあおき２０２５について

開催日時　令和7年11月29日（土）の午前です。

・昨年度のフォーラムの反省から

今年度も、昨年度と同様に午前開催で、講演会、展示発表、映像コーナーを行いたいです。昨年度の反省にもやはり、より多くの方に参加して欲しいとありましたので、保育園保護者会、小学校、中学校のそれぞれ PTA 役員を中心に声をかけ参加していただいたり、より多くの青木村の方にも年度当初に予定に入れておいていただくように呼びかけをしたりして、この青木村で大切にしている「青木村の教育」を知っていただきたいです。

そこで今年度のテーマを考えたときに、あおきっ子教育ポイント５か条の第１条、一日のスタートにある「元気に歩いて学校へ」の歩くということに視点をあて、保小中で取り組んでいってはどうかという意見がありました。それぞれの家庭で事情があり、すべての児童や生徒が歩いて

学校に来るというのは、厳しい状況があると思います。そこで、登下校を歩くことがきる人は登下校で、そうでない人は家の近所で朝、晩などに家族で歩くといった取り組みを推奨していく事であおきっ子教育ポイント５か条の第１条が達成できていくのではないかと考えています。今後、テーマや講演会の内容などお知らせしていきます。より多くの皆様に参加してもらえるように内容を考え、呼びかけをしていきます。今から予定に入れていただき、多くの皆様の参加をお待ちしております。

２．各活動について

各委員会は活動を計画・推進し、保小中それぞれにおろしていきます。内容によっては村全体に発信していくことになります。各委員会の活動についての発表（発信）は、「子育てフォーラムあおき 2025」及び「青木村子どもはつらつネットワーク通信」とします。

３．今年度の各委員会の活動内容

（１）　あおきっ子教育ポイント５か条委員会（推進委員長：松本　香樹）

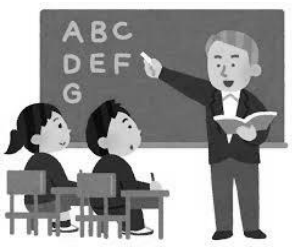
・今年度は、アプローチを変え、「家族いっしょにタイム」を提案し、親のわずかな心がけや努力で家族いっしょに活動する時間を増やしたいと考えています。（あおきっ子教育ポイント５か条の第 4 条の改訂）そしてその中で何かキラリと輝くエピソードがあればフォームに投稿していただき紹介していきたいと考えています。改めて「家族いっしょ」のよさに気づき、自然と笑顔になり、自然とメディア利用が減っていく、そんな姿を目指していきたいと思います。

（２）　子育て委員会（推進委員長：藤井　由香）

・テーマ「地域から学ぼう」
　青木村では保育園、小学校、中学校共に地域の方々が授業や活動、生活に携わってくださる機会が多い。その中でたくさんの事を学び、地域のことを知り、社会力を育む。
・地域の方々、子どもたちの思いを模造紙などに写真とともにまとめ、子育てフォーラムで展示発表し多くの方に見ていただく。

（３）　フォーラム推進委員会（推進委員長：寺澤　信孝）

・子育てフォーラム青木２０２５の企画・運営をします。
　（講演会について、各委員会の発表について、日程の工夫など）



（４）　小中連携推進委員会（推進委員長：片平　知之）

・小学６年生による中学校「こまゆみ祭」見学→例年合唱のみの見学であったが今年度は探究の発表を見学したい。１年生の総合的な学習の時間の授業も見学したい。
・中学英語科による小学校外国語授業の視察。

・小中双方の授業を見合える研修を企画する。特別支援学級担任による小学校授業の視察と特別支援学級在籍児童の中学校案内。（特別支援教育委員会と連携）

（５）　保小連携委員会（推進委員長：清水　千恵子）

・一年をとおして保育園、小学校との連携活動を行う。
（小学校運動会参加、青木村散策、保小中一貫教育研修会、小学校音楽会リハーサル見学、ハロウィンの練り歩き、小学校体験入学など）
・展示品の作成を行う。
（お散歩マップ活用、連携活動のまとめなど➡委員会開催に合わせて行っていく）

（６）　特別支援教育委員会（推進委員長：福澤　敬）

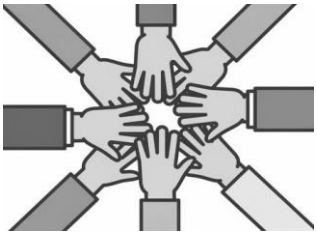
・フォーラムでの分科会は行わず、推進委員会や全体会では事例検討や情報共有の時間として進めていく。
・推進委員会や全体会ごとに一名ずつ事例検討を行うようにする。
・各移行についてもできるだけ早めにできるようにする。

（７）　保健教育委員会（推進委員長：手塚　歩美）

・健康や食について、保育園、小学校、中学校、役場それぞれの立場からわかる実態や実際に活動していることについての情報交換。
・「歩く」ことに関わって運動についての情報交換。
・特に昨年度からの課題「歯と口の様子」についての情報交換。
・共有した情報についてはフォーラムで展示発表。

【小中連携の様子】

４月２１日(月)に小中合同研修会を行い、中学校の先生方には小学校の授業を見て、貴重な意見をいただきました。また、講演会では、北村村長に前さいたま市教育長の細田眞由美先生をご紹介いただき、「子どもたちのミライのために～今 私たち大人ができること やらなければならないこと」という演題でお話しいただきました。大変パワフルにそして情熱的にこれからの教育について語っていただき、お話に引き込まれ、時間があっという間に過ぎました。５月１２日には小中連絡会が行われ、小学校を卒業した子どもたちが立派に中学生になった姿を見ることができました。
小中連携の活動をこれからも大切にしていきたいと思います。



最後に、多くの自治体が保・小・中の連携を目標に挙げ活動しています。しかし、青木村の保小中一貫教育は違います。これだけ連携が充実している自治体はないです。地域の教育力が高い青木村の教育に携わっていることを自覚し、今年度も保小中一貫教育を進めていきたいと思います。

はつらつ先生 IN あおき

今回は、青木小学校　１年１組　橋本 美穂子 先生です。

・好きな食べ物…創作料理。アレンジした料理が好きで、ルッコラ、アイスプラントのような少し変わった野菜やわさびも好きでよく食べます。

・苦手な食べ物…鶏肉。特に骨付き、皮付きはダメです。子どもの頃親戚で飼っていた鶏を目の前でさばいたのを思い出し、それがトラウマになっていて食べるとお腹が痛くなります。すごく辛いものも苦手です。

・趣味…創作ダンス。着物を着てお出かけをすること。10 年以上習っているフラワーアレンジメント。1 番好きな花はラナンキュラスです。

・どんな子どもでしたか？…消極的で授業中に手を挙げると顔が赤くなりドキドキするような子どもでした。仲のよい子が積極的な子でいつもその子の後ろについていて、一番になってはいけないのではないかと思っていました。中一の時に自ら積極的になろうと心掛けるようになり、今は『１番』が大好きです！！ あとは外で男子とサッカーをしたり、体育館でボール遊びをしたりしていました。

・先生にならなかったら？…スチュワーデスに憧れていましたが、乗り物酔いをするので諦めました。高校生の時に担任の先生に「おまえは先生になれ！」と言われてその気になりました。中学生でバレーボール、大学生の途中から創作ダンスを始めました。創作ダンスの魅力は、イメージしたことをどうやって相手に伝えるかの難しさと、表現できた時の達成感です。

・好きな有名人は？…Da-iCE。歌とダンスが好きです。上橋菜穂子。「精霊の守り人」など女主人公が活躍する守り人シリーズの作者。

・お休みの日は何をしていますか？…着物を着てよくお出かけをします。最近は山梨県の美術館まで行ったり、お抹茶をいただいたりして楽しんでいます。

編集後記

今年度の「子育てフォーラムあおき 2025」は、11月２９日（土）の午前中に開催予定です。今から予定に入れていただき、多くの皆さんの参加をお待ちしております。